

Reha tech

シルバーカー

ラクティブ

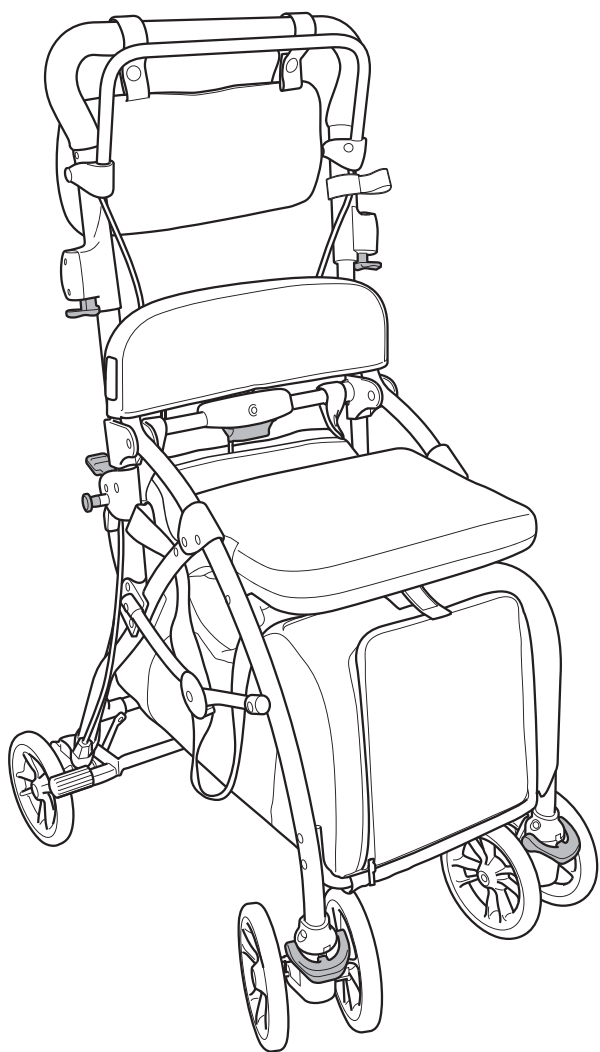
ペット

R·active pet

取扱説明書

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

900530-8900



この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。手すりなどの固定されたものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人などには適しません。

必要に応じて専門家等（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し、使用に適しているかどうかを確認のうえ、購入されることをお勧めします。



フランスベッド株式会社

目次

ご使用前の注意	3
ご使用上の注意	4
お手入れ方法	5
保管方法	5
各部の名称	6
車体の組み立て方	7
車体の折りたたみ方	8
ハンドルの高さ調節	9
前輪の調節	9
ブレーキの操作	10
パーキングブレーキの操作	10
袋(大)の使い方	11
袋(小)の使い方	12
座面の使い方	13
杖立ての使い方	13
ブレーキの調整	14
パーキングブレーキの調整	15
製品仕様	15
お問い合わせ先	15
保証書	裏表紙

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、十分にご理解のうえ、ご使用ください。

製品に関してご不明な点や不都合などがございましたら、ご購入店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

ご使用中は、つねにペットおよび周囲の安全にご配慮いただき、公共のルールとマナーを守って正しくご使用ください。

*本書に使用している画像は実際の製品とはデザイン等において異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

*製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

転倒や事故防止のため、下記の事項を必ず守ってください。

ご使用前の注意



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください。

- エスカレーターでは使用しないでください。
- 雨・雪・凍結などで滑りやすいところでは使用しないでください。
- バスや電車内では座面に座らないでください。



注意

誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください。

- 加齢等によって、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止してください。また、定期的に専門家などにこの製品の使用が適切かどうかを確認してください。
- 組み立てるときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立ておよび調節は確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- 各部を点検し、特にブレーキとパーキングブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されるか、また解除の際は後輪がスムーズに回転するかを確認してください。
- ネジなどの緩みがないか、ハンドルが固定されているかを確認してください。
- 金属パイプや樹脂部品に変形や割れ、異常がある場合は使用を中止してください。また、手直しして使用しないでください。
- タイヤおよびブレーキに磨耗がないかを保守・点検し、必要に応じて交換してください。交換する場合にはご購入店もしくは弊社お客様相談室へ連絡してください。
- ご使用の際は、必ずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 坂道・溝・段差のあるところ、砂・泥・水溜まりのあるところを通る場合は十分に注意してください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および夜間での使用は十分に注意してください。
- ペットが慣れるまでは、長時間の使用は避けてください。また慣れた後であっても使用中にペットに異変を感じた場合はすぐに使用を中止してください。
- バスや電車を利用するときは、事前に運営会社等を確認してください。

ご使用上の注意



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください。

● 歩行時について

- ・ハンドルを片手で操作しないでください。
- ・ハンドルに寄りかかると車体だけが前に行き、転倒する恐れがあります。
また、ハンドルや車体に荷物を吊り下げるとバランスを崩し危険です。絶対にしないでください。
- ・段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので注意してください。
また、段差を斜めに侵入しないでください。段差の手前では必ず一旦止まり十分に注意して慎重に段差を越えてください。
- ・ペットのリードをハンドルや車体に結んだりしないでください。転倒する恐れがあります。

● 座面について

- ・座面を使用するときは、必ずパーキングブレーキをかけて使用してください。
- ・坂道などの傾斜地や斜面などでは座らないでください。
- ・立ち座りの際は車体が動かないか確認してから、ゆっくりと身体を動かしてください。
- ・勢いよく座らないでください。車体の変形、破損する恐れがあります。
- ・最大使用者体重を必ず守ってください。

● その他

- ・分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。



注意

誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください。

● 歩行時について

- ・ブレーキバーを握った状態、およびパーキングブレーキをかけた状態で歩行しないでください。
- ・車体から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前には放置しないでください。
- ・ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違います。制動力を過信しないでください。
- ・坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があり大変危険です。やむを得ず駐車するときは、車体が動かないように十分に注意してください。
- ・踏切などの溝を越えるときは、前後輪がはまらないように十分に注意して操作してください。
- ・座面上に人を乗せたまま移動しないでください。

ご使用上の注意(つづき)

● 座面について

- ・浅く座らないでください。
- ・踏み台として使用しないでください。
- ・幼児、子供を座面上に立たせないでください。また、操作させないでください。

● 袋について

- ・積載荷重(袋(大) 5kg / 袋(小) 1kg)を超えた重量のペットや荷物を乗せないでください。
- ・袋(大)にペットを乗せたまま折りたたまないでください。
- ・袋の中に乳幼児を乗せないでください。
- ・袋の中に貴重品を入れたまま車体から離れないでください。
- ・気候に関わらず、晴天時の日中は袋の中の温度が高くなる恐れがあります。高温になりやすい車内や暖房機器の近くにペットを乗せたまま放置しないでください。

お手入れ方法

- ・雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- ・袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- ・シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないでください。

保管方法

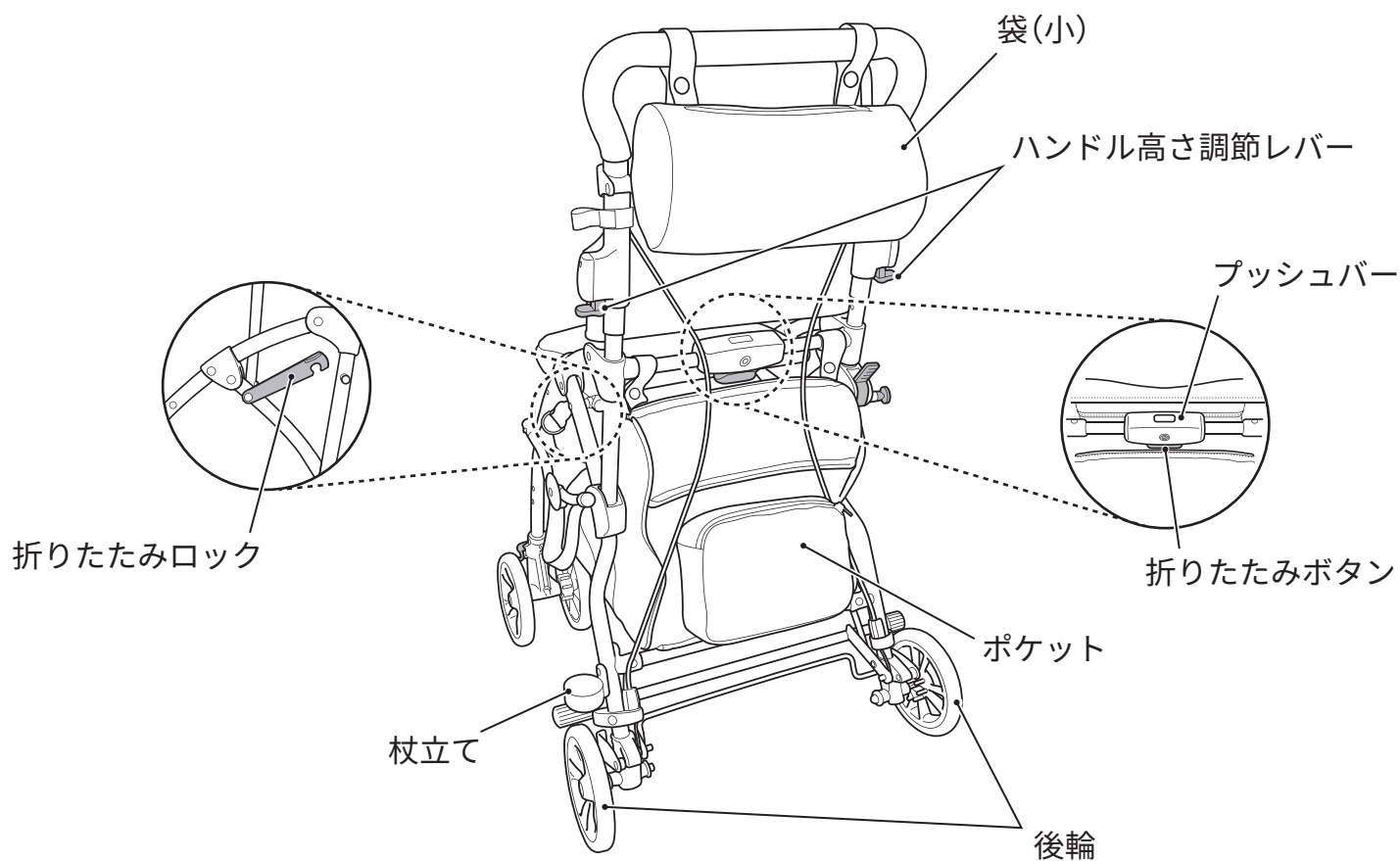
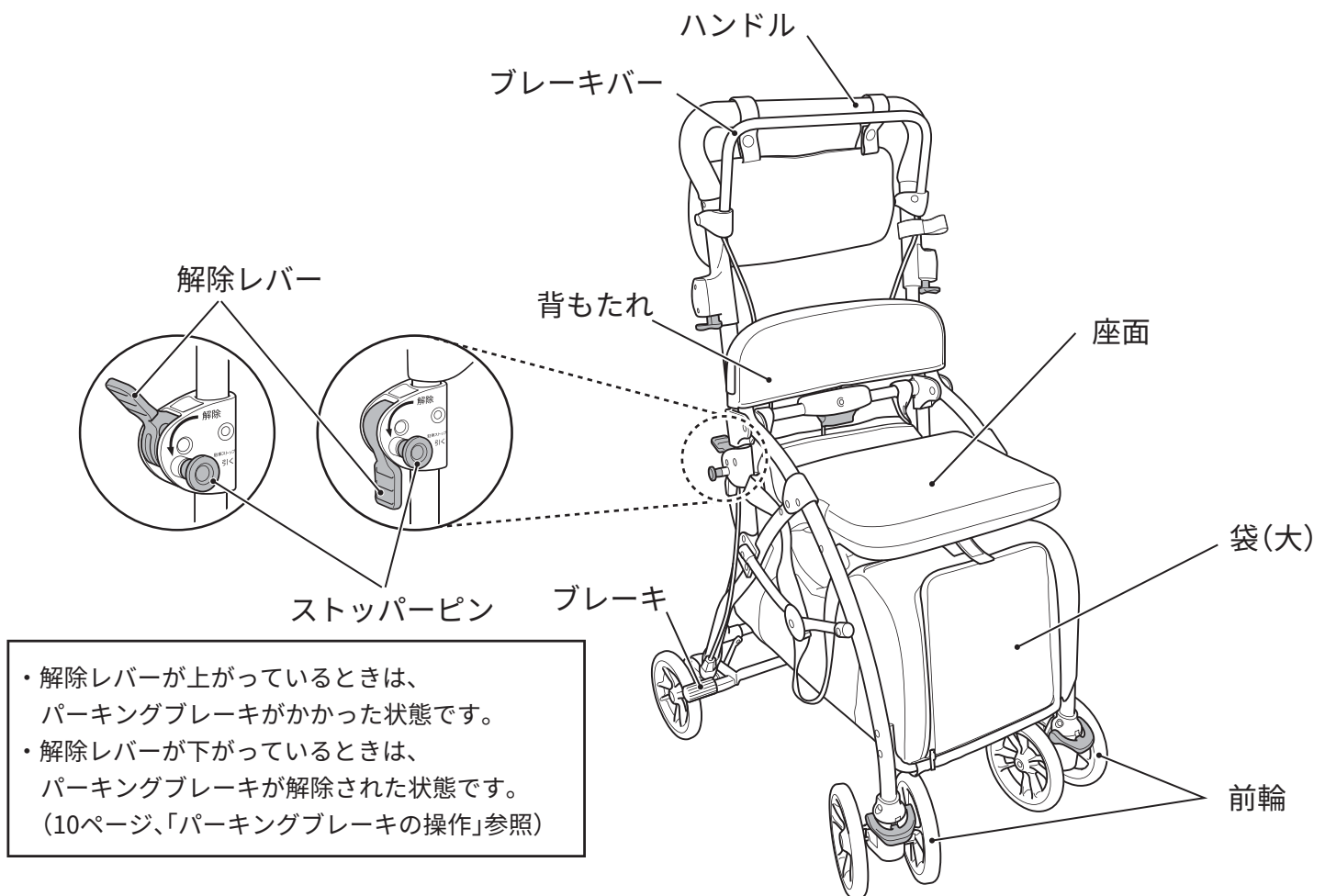


注意

- ・雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や劣化の原因になります。
- ・直射日光が当たる場所に放置しないでください。変色や劣化の原因になります。

- ・屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。

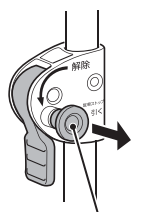
各部の名称



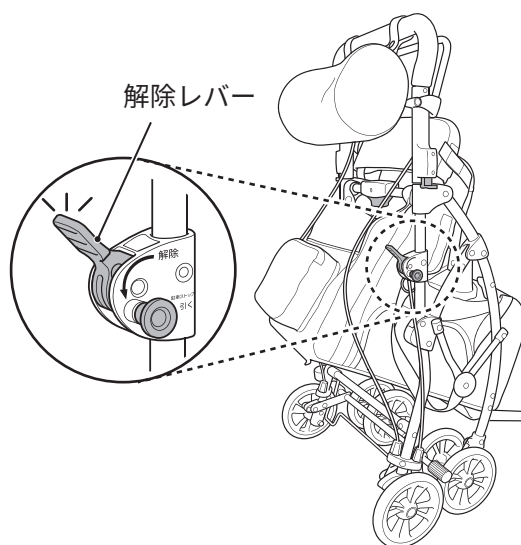
車体の組み立て方

1 解除レバーが上がり、パーキングブレーキがかかっていることを確認する

*解除レバーが下がっている場合は、
ストッパーピンを外側に引いて
解除レバーを上げてください。

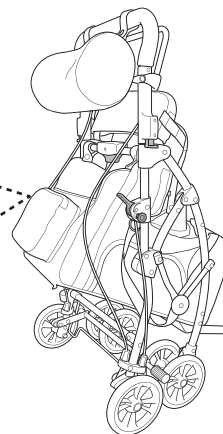
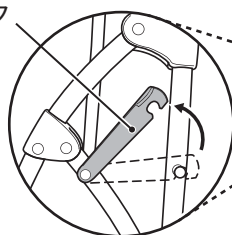


ストッパーピン

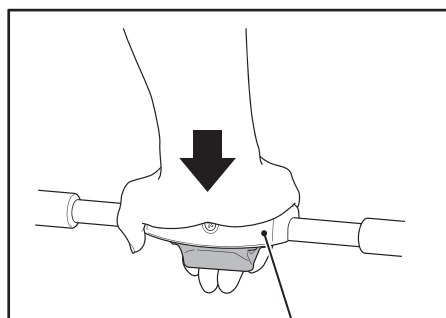


2 折りたたみロックを外す

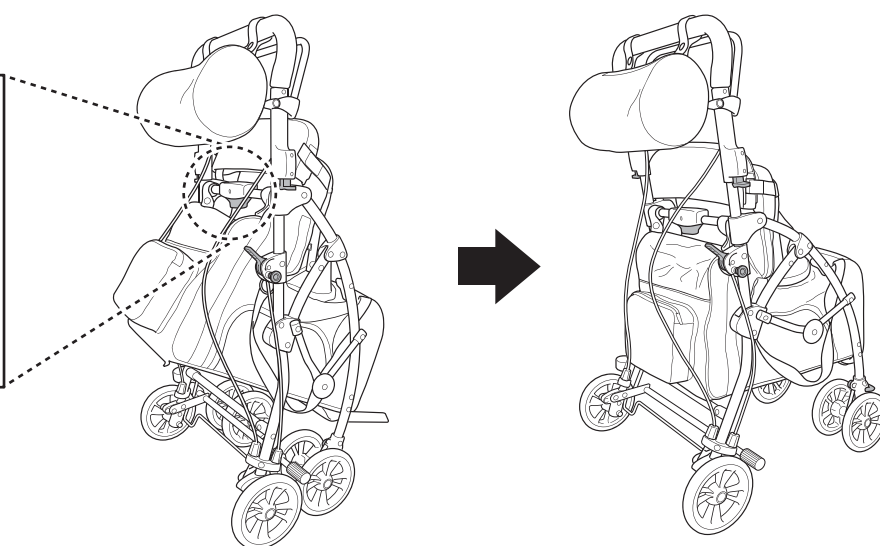
折りたたみロック



3 プッシュバーを手のひら全体でカチッと音がするまで下に向けてゆっくり押す



プッシュバー



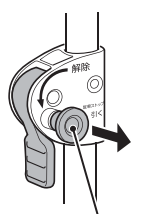
注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 確実に車体が開いていることを確認してから使用してください。

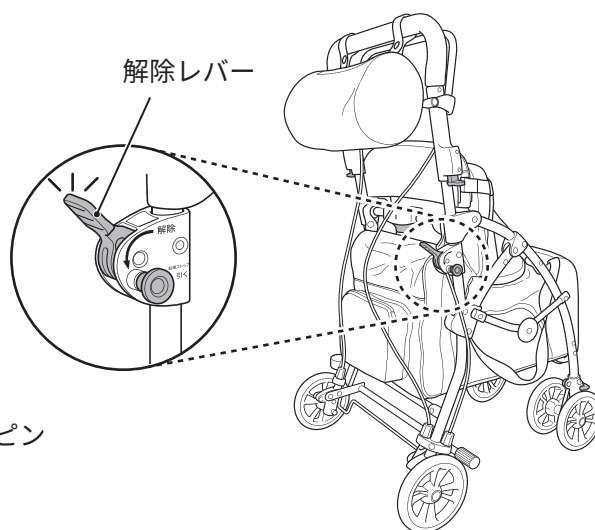
車体の折りたたみ方

1 解除レバーが上がり、パーキングブレーキがかかっていることを確認する

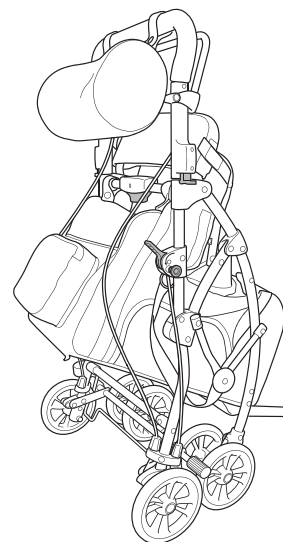
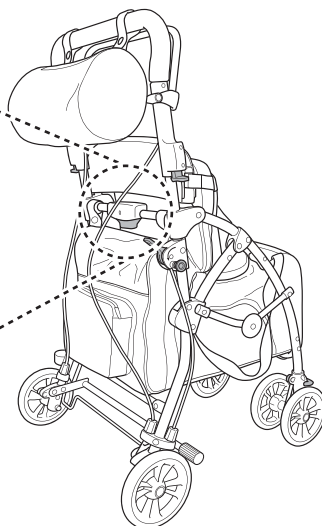
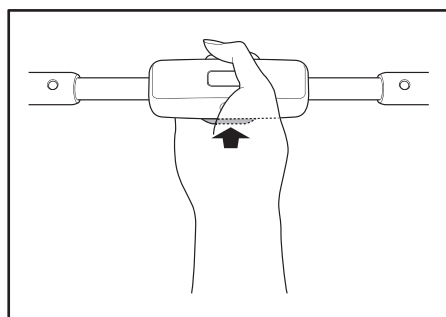
*解除レバーが下がっている場合は、
ストッパーピンを外側に引いて
パーキングブレーキをかけてくだ
さい。



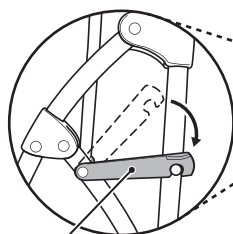
ストッパーピン



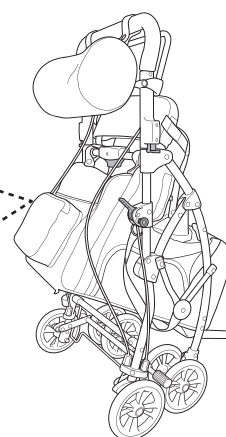
2 プッシュバー下面の折りたたみボタンを 押しながら引き上げる



3 折りたたみロックをかける



折りたたみロック



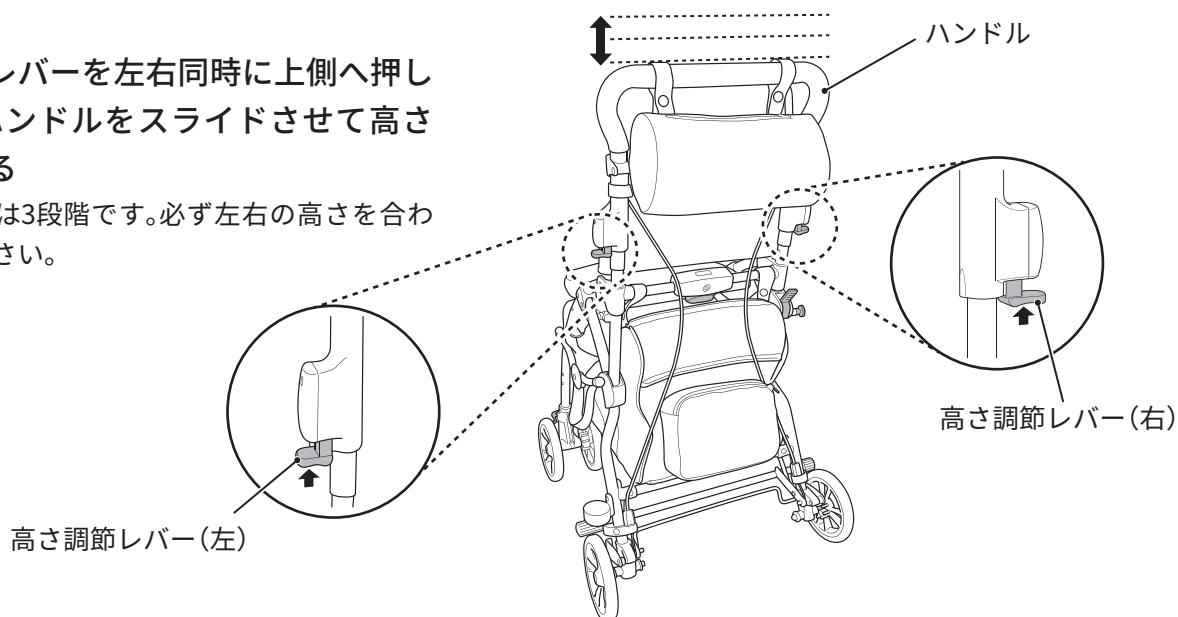
注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。

ハンドルの高さ調節

高さ調節レバーを左右同時に上側へ押し
たまま、ハンドルをスライドさせて高さ
を調節する

＊高さ調節は3段階です。必ず左右の高さを合
わせてください。



注意

- ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
- ハンドルの高さを調節した後は、必ずブレーキの動作確認を行ってください。
- ハンドルを無理に引き上げないでください。破損する恐れがあります。

前輪の調節

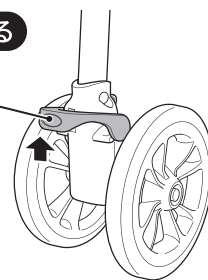
お好みに合わせて前輪の動きを変更します。前輪をまっすぐ前に向けてから調節してください。

● 直進を安定させる

レバーを上げて前輪を固定させる

レバーを上げる

レバー

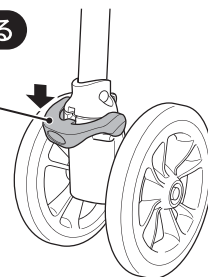


● 曲がりやすくする

レバーを下げて前輪の固定を解除する

レバーを下げる

レバー



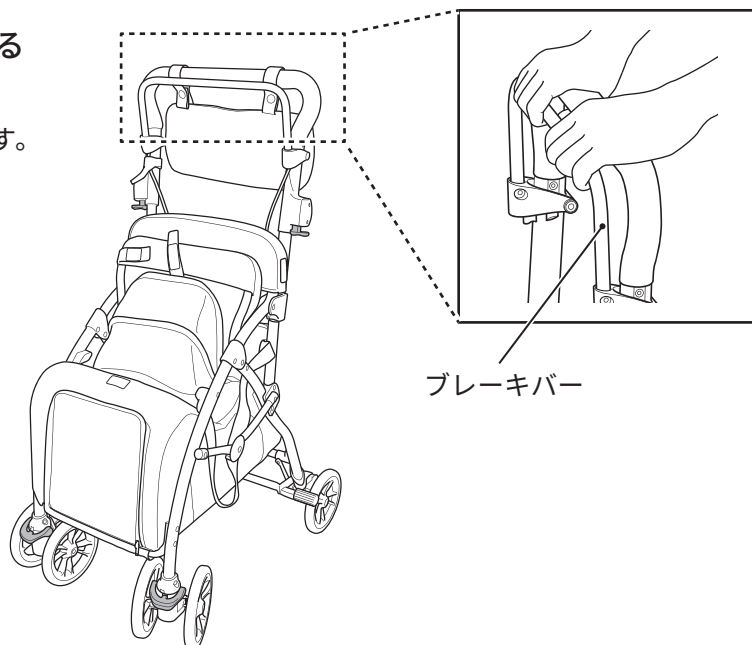
注意

- 左右のレバーが同じ位置にあることを確認してください。同じ位置にないと歩行が不安定となり転倒する恐れがあります。
- 指などをはさまないように注意してください。

ブレーキの操作

ハンドルとブレーキバーを一緒に握るとブレーキがかかります

＊ブレーキバーを離すとブレーキが解除されます。



ブレーキバー

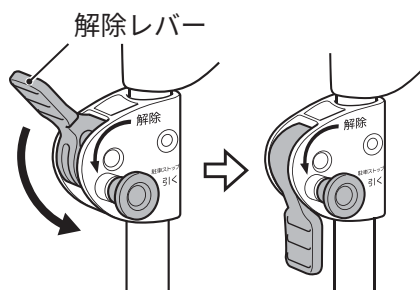
⚠ 注意

- ・ブレーキをかけるときは、必ず両手でブレーキバーを握ってください。
- ・ブレーキは後輪の回転を抑制するものです。濡れた路面や急な坂道ではブレーキをかけてもタイヤが滑る場合がありますので、ご注意ください。
- ・ブレーキバーとハンドルの間に指などをはさまないように注意してください。
- ・ブレーキバーを握ったまま歩行しないでください。

パーキングブレーキの操作

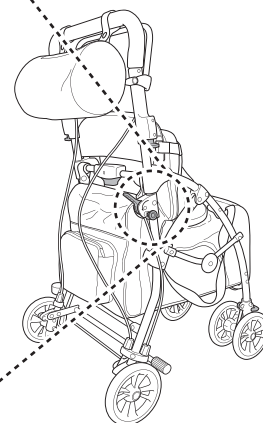
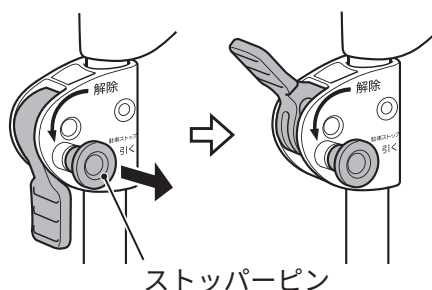
● 歩行するとき

解除レバーを押し下げ
パーキングブレーキを解除する



● 駐車する・座面を使うとき

ストッパーピンを引いて
パーキングブレーキをかける



⚠ 注意

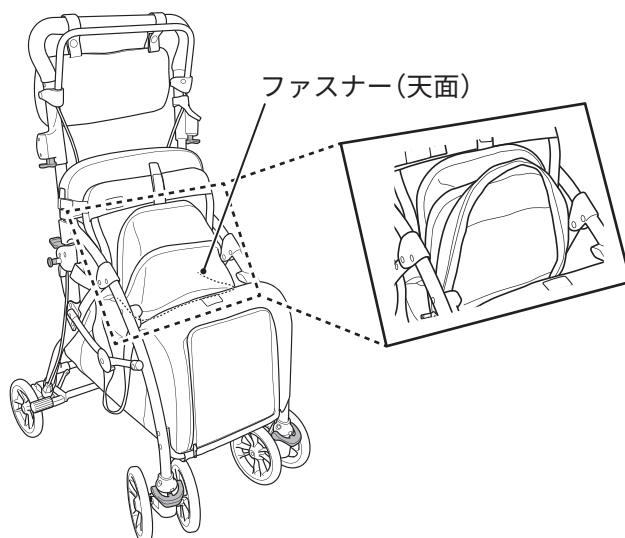
- ・座面に座るとき、車体から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- ・パーキングブレーキをかけたまま歩行しないでください。
- ・指などをはさまないように注意してください。

袋(大)の使い方

袋(大)には5kgまでのペット、または荷物を乗せられます。

● 天面からペット、または荷物を乗せる場合

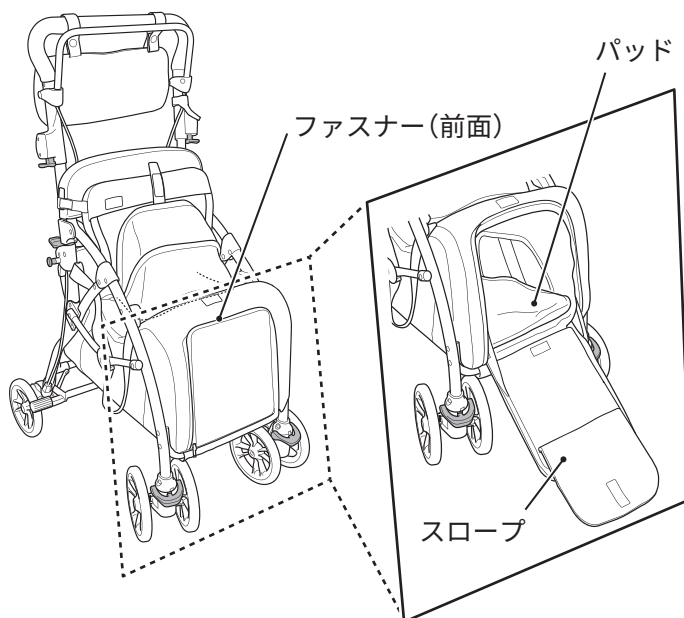
- 1 座面が上がっていることを確認する
- 2 袋(大)天面のふたを開け、メッシュ部のファスナーを開ける
- 3 ペット、または荷物を乗せたらメッシュ部のファスナーを閉じる



＊降ろすときは逆の手順で行ってください。

● 前面からペット、または荷物を乗せる場合

- 1 袋(大)前面のファスナーを開ける
- 2 折りたたまれたスロープを開く
- 3 ペット、または荷物を乗せたらスロープをたたむ
- 4 前面のファスナーを閉じる



＊降ろすときは逆の手順で行ってください。

⚠ 注意

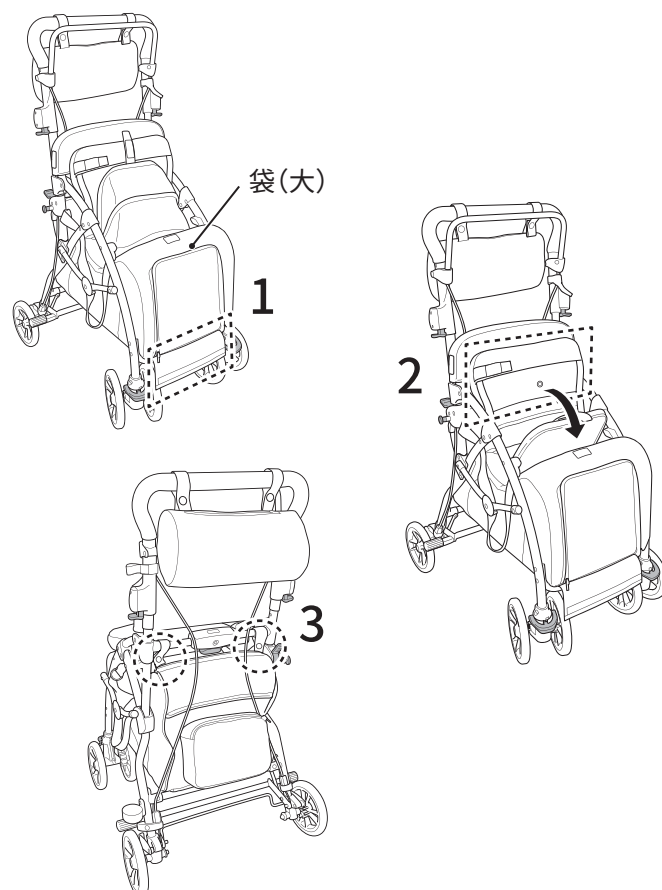
- ペットを乗せたときは飛び出さないようファスナーを確実に閉じてください。
- 袋(大)中にあるパッドが汚れたときは取り出して水洗い(洗濯機不可)してください。

袋(大)の使い方(つづき)

● 袋(大)を取り外してキャリーケースとして使う

- 1 袋(大)前面下の面ファスナーをはがし、車体から離す
- 2 袋(大)のふたと座面裏をつないでいるスナップを外す
- 3 袋(大)の後面のスナップ(2か所)を外して、ベルトを車体から離す
- 4 袋(大)を車体から取り外す

＊取り付けは逆の手順で行ってください。



ショルダーストラップをつけると袋(大)を肩がけできます。

＊ショルダーストラップは袋(大)の後ろポケットに収納されています。

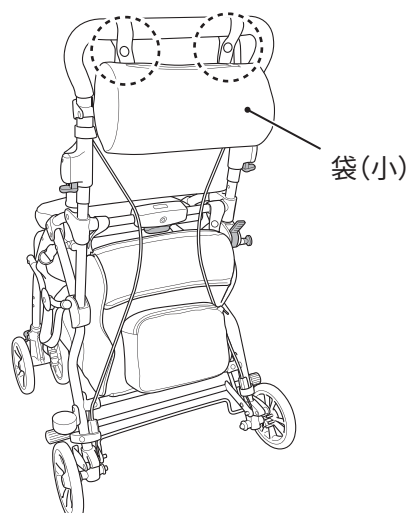
袋(小)の使い方

袋(小)には1kgまでの荷物を乗せられます。

ハンドル、またはプッシュバーのフレームに取り付けてお使いください。

● 袋(小)を取り外す

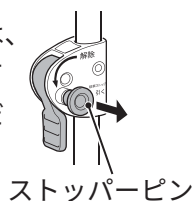
スナップ(2か所)を外して、ベルトをハンドル(フレーム)から離す



座面の使い方

- 1 解除レバーが上がり、パーキングブレーキがかかっていることを確認する

*解除レバーが下がっている場合は、ストッパーピンを外側に引いてパーキングブレーキをかけてください。

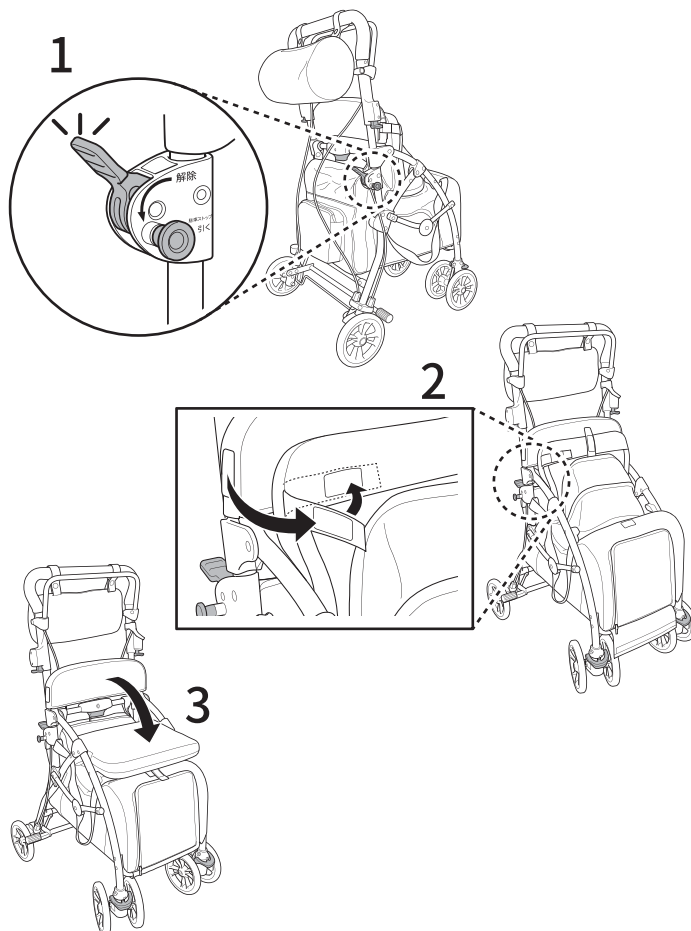


- 2 背もたれについたベルトの面ファスナーを外し、座面下の面ファスナーに貼りなおす

- 3 座面を前に倒す

- 4 座面の中央にゆっくり座る

*座面をたたむときは逆の手順で行ってください。

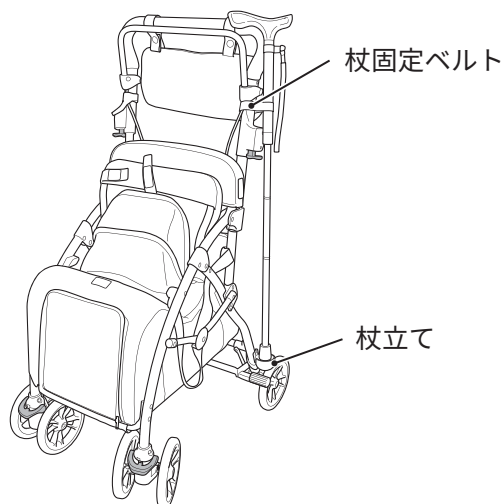


注意

・座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してからゆっくり立ち上がってください。

杖立ての使い方

- 1 杖の先端を杖立てに入れる
- 2 杖固定ベルトで杖を固定する



注意

・走行中に杖が外れないよう、確実にベルトで固定してください。

ブレーキの調整

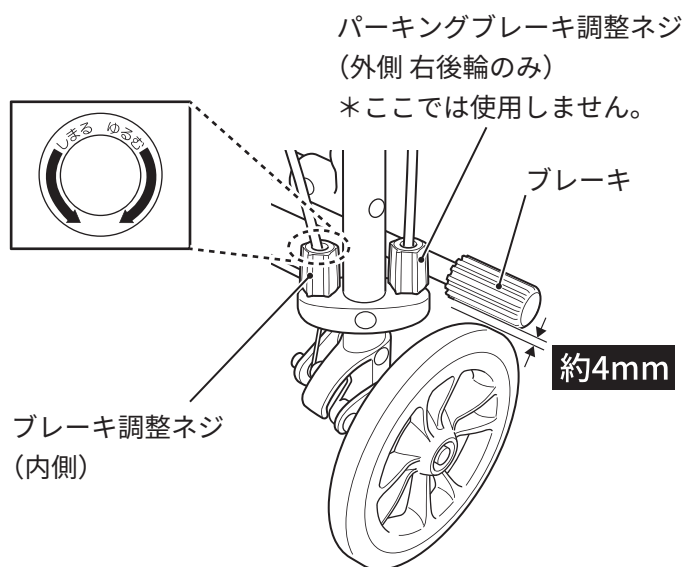
ブレーキをかけたときに後輪が空転する場合は、ブレーキ調整ネジを回して左右のブレーキと後輪のすき間が約4mmになるように調整します。

●すき間を狭める(ブレーキの効きをよくする)

ブレーキ調整ネジを「しめる」の方向(反時計回り)に回す

●すき間を広げる(ブレーキの効きをゆるめる)

ブレーキ調整ネジを「ゆるむ」の方向(時計回り)に回す



⚠注意

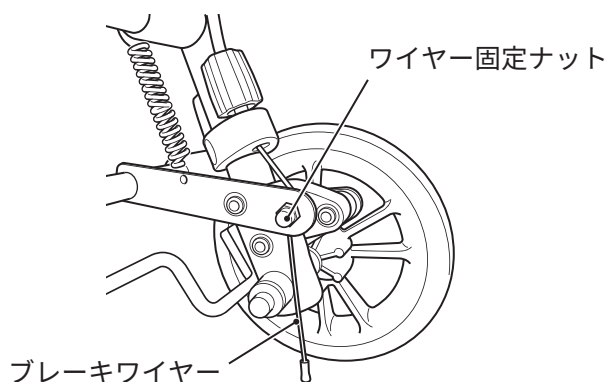
- ブレーキ調整は左右両輪が同じ強さになるよう調整してください。
- ブレーキ調整ネジとパーキングブレーキ調整ネジを間違わないように注意してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

約4mmのすき間が空けられない場合

⚠注意

- 約4mmのすき間が空けられない場合のみ行ってください。
- 細かな調整については、「●すき間を狭める」「●すき間を広げる」を参照してください。

- 1 ブレーキワイヤーの先をペンチなどでつまむ
- 2 ワイヤー固定ナットをスパナなどで反時計回りへ回して緩める
- 3 すき間を約4mmになるように調整する
- 4 ワイヤー固定ナットを時計回りへ回して強く締める



パーキングブレーキの調整



注意

- 調整するときはパーキングブレーキを解除した状態で行ってください。
- ブレーキ調整ネジとパーキングブレーキ調整ネジを間違わないように注意してください。

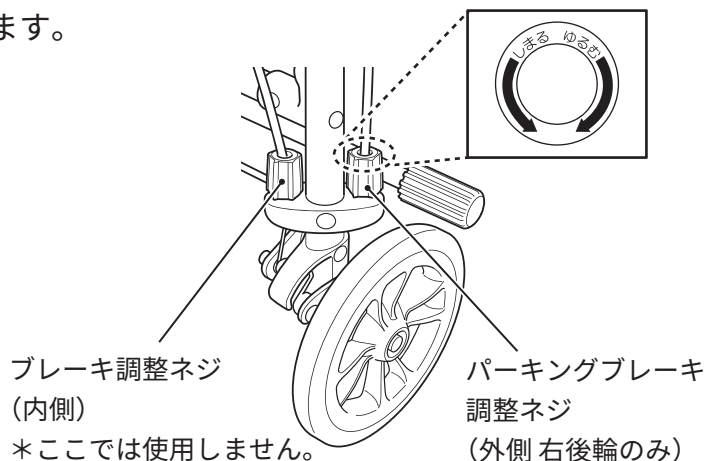
右後輪のパーキングブレーキ調整ネジで調整します。

● パーキングブレーキが右後輪に当たって音がする場合

パーキングブレーキ調整ネジを「ゆるむ」の方向(時計回り)に回す

● パーキングブレーキが戻らない場合

パーキングブレーキ調整ネジを「しめる」の方向(反時計回り)に回す



製品仕様

組み立て寸法	幅 490 mm × 奥行 550 mm × 高さ 880 mm～935 mm	重量(全体)	約 5.5 kg
		重量(各部)	フレーム 約 4 kg / 袋(大) 1.3 kg / 袋(小) 0.13 kg
折りたたみ寸法	幅 490 mm × 奥行 300 mm × 高さ 900 mm		
ハンドル高さ	880 mm ～ 935 mm (3段階)	最大使用者体重	80 kg
座面高さ	490 mm	袋(大)の積載荷重	5 kg
座面寸法	幅 320 mm × 奥行 225 mm	袋(小)の積載荷重	1 kg
袋(大)寸法	幅 285 mm × 奥行 500 mm × 高さ 300 mm	本体材質	アルミ・スチール・樹脂
袋(小)寸法	幅 305 mm × 奥行 130 mm × 高さ 155 mm	車輪材質	ポリプロピレン・EVA
外箱寸法	幅 500 mm × 奥行 315 mm × 高さ 950 mm	座面・袋材質	ポリエステル(主材)

*折りたたみ寸法、およびハンドル高さは参考数値です。

*折りたたみ奥行寸法は、袋を含みません。

お問い合わせ先

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室

フリーダイヤル

 0120-39-2824

*携帯電話・PHSはナビダイヤルに繋がります。

平日9時～12時、13時～17時

土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く

保証書

◇◇◇ 保証書 ◇◇◇

この製品は、厳重なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で製造上の不備により故障した場合には、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が受付け致します。
※ 修理はお買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼下さい。
※ 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5 TEL 042 (543) 3111 (代表)

型 式	ラクティブ ペット	しま・あずき
保証期間	お買い上げ日	年 月 日から1年間
お 客 様	ご住所 〒	
	ご氏名	電話番号
	様	

販 売 店

修理の記録

◇◇◇ 保証規定 ◇◇◇

1. 保証期間内に正常なる使用状態において製造上の不備により故障した場合には、無償修理致します。
お買い上げ日及び販売店名は、納品書又は領収書等で確認させていただきますので、保証書とともに紛失しないよう保管願います。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
(イ) 使用上の誤まり、不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、風水害、落雷やその他の天災地変、公害、ガス害、塩害等による故障及び損傷。
(ニ) 本保証書のご提示がない場合。
(ホ) 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
(ヘ) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
(ト) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。
3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4. 法的責任：この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。
5. 保証の対象：本体及び付属品。但し、縫製部品は除く。
6. 免責：本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、予めご了承下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022

東京都昭島市中神町1148番地5